

「水保まちづくり推進会議」

委員長就任に際して
委員長 今井喜彦

万物生大のときとなり、水保町の皆様方には益々ご清米のことと存じます。

この度、先輩の方々が基礎づくりをされました「水保まちづくり推進会議」の委員長たる大役にこの指名をいただき、責務の重大さを痛感しておりますとともに、皆様方のご協力を頼りに何とか前向き



に進んでまいりたいと、決意を新たにしているところです。

過日、早速各部会や連絡協議会に出席して、部員の方々と関係機関の皆様方の熱心な討議にあられた。頭の下がる思いがしました。願ひますと、生活改善の一貫として葬祭の祭壇や、それにまつわる申し合わせ事業を始め、コスモス街道や花いっぱい運動、営農ビジョンでは、ライスメイトと大きな組織まで生まれたことは水保町の大きな前進だと考えられます。



それらに携わる町民の皆様の意識の向上。同じ目的のためにお互いに協力し合って一つの作業をすることにより生まれるふれあいの心。一息いれての服の時。何もかも打ち明けられて語り合え、また助け合う仲間が一人でも多くなれば、本当の意味でのまちづくり、また、人づくりが可能でもありと信じています。

いま国政では、借金大国、高齢化社会、老人介護等の問題が問われています。物余る裕福な時代ばかりは続きません。無駄を省いて合理的な生活をするためには、皆が生活改善について、原点に戻って話し合うことが必要な時期と考えられます。

まちづくりは、町民みんなの仕事です。文句を言うより、町民一人々が自分たちの周辺から改革を行い、また、新しい発想を自治会に提言することが必要であり、これがまちづくり推進会議の目的とするところだと考えられます。今後の水保の益々の発展のために、何とぞ皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

健康福祉部創設

平成九年度から、水保まちづくり推進会議に新たに健康福祉部が創設されました。

社会福祉を取り巻く諸問題が増大し、高齢化社会の急速な進行が予想される中、在宅福祉の推進が一層重要となりつつあります。

なお、児童生徒の環境も大きく変わり、複雑・多様化し、今いろいろの問題や課題が生まれてきております。

そうした中で、要援護者の自立、地域住民の理解と協力を促進するために、住民参加の福祉まちづくり、地域福祉の時代として、今後水保自治会が市や学区はもちろんだ、他の自治会よりいち早く福祉部会を設け発足された。住民の皆



が「一丸となり、ネットを張って福祉活動に取り組み進めていかなければなりません。預かっている民生の立場から、皆さんと一緒に一層活動に精進して参りたいと考えております。(民生委員)

「健康福祉部」をしよう

- ①市からの依頼で
 - ・妊産婦訪問と乳幼児検診
 - ・成人病検診の受付・手伝い
 - ・栄養マップ、コンピュータ検診の配布と回収
 - ②ボランティア活動として
 - ・ボランティア活動としての給食サービス(年3回)
 - ・水保サロンの開催と手伝い(年4回)
 - ③市の保健婦さんとのかけはしとして
 - ・健康相談、子育て相談、高齢者介護相談
 - ・健康料理の講習や母子の料理教室
- などを行っています。
- なお、平成9年度の水保サロンは、6月(26日実施済み)、10月、12月、3月の4回です。対象の方々については、お知らせしていただく予定です。
- (健康推進員)

ピカピカの一年生

今年の4月に次の3名のごどもさんが、速野小学校の一年生として入学されています。

- 今井 勇 くん (将文)
 - 西村 啓 くん (憲司)
 - 今井 つかさ ちゃん (武司)
- (順不同)

「水保の歴史」

今回の水保の歴史は、「浜街道」を取り上げてみました。現在は、「国道 477号線」(大津、近江八幡)と正式に呼ばれていますが、その歴史を紐解くと意外な発見があります。

時はさかのぼり、大阪夏の陣を境に戦乱は収まり、世も次第に落ち着きを見せ人々に平和が訪れる中、その心を癒すかのように湖南の中心としての本願寺の触れ頭として、赤野井に御坊が建立されました。

この本願寺の中心となるべき御坊へ参拝する人々の道としてひらけ、中仙道よりも琵琶湖沿いにあつたためか、いつしか浜街道とよばれるようになったようです。かつてのこの道は、草津の北山田港から始まり、森河原より守山に入り山賀・杉江を経て赤野井へ、その逆方向といえは、現在の近江八幡駅前の八幡鷹飼から吉川・小浜・幸津川・立田と続き、水保・開発・矢島を経てとなります。その当時、赤野井御坊が、どれだけの人々の心の支えになっていたかを物語っているようです。浜街道沿いにお住まいの、故北村卯之助氏に尋ねてみましたところ、今から60年も前は道幅が6尺(約2m)程度だったことから「6尺道」と呼んでいたそうです。道筋も随分と違っていたので、まっすぐに開発に続くのではなく、一旦バス停を在所の方へ曲がり、観音寺さんへの参道とは逆に進み、コスモス畑へ続く道となっていたそうです。

(次号へつづく)

市政を語る

甲斐市長との懇談会

守山市の広報誌「もりやま」(4月号)で「平成9年度予算シリアルズ」と題して守山市の主要事業や施策が紹介されていましたが、水保推進会議では、これに先駆け去る1月25日(土)、集落センターにおきまして、甲斐守山市長を招いて、平成9年度の要望事業の概要(案)を拝聴しました。

また、守山市及び水保に関わる諸問題について、甲斐市長に活発な質問を行い、有意義な3時間を過ごしました。甲斐市長は、「市長に就任して3回目の予算編成を迎えているが、約60%の借金財政でマイナスシリングと苦しい予算を強いられている」、また、「市民の声、自治会の要望を直に聴き、それを反映させるため、各自治会を順番に回っている」など現状を訴えながら熱弁を奮っておられました。懇談会の内容等は、次のとおりです。

【野洲川跡地利用問題】

列系図橋から美崎の野洲川河口で「風景公園」として位置づけ、滋賀県の事業として、平成8年度から9年度の間アセスメントにより、平成10年3月を目途に砂利などの骨材採取を行い、堤防の平地化を図る。

この事業の後、平成10年度の事業で「湖国風景公園」(案)を計画している。

○構想

- ・公園道路(4車線道路・36×40m道路)
- ・右岸は観賞緑地沿い2車線道路
- ・左岸は市道(水のせせらぎをイメージした小川を含む)
- ・大曲付近は築山(堤防)設置
- ・施設インフォメーション
- ・レンタルサイクル

ふるさとレストラン
ビクターセンター
(淡海風景館)

【国道477号バイパス】

従来は農政省サイドの計画であったが、今回は建設省が管轄する「大津・守山・近江八幡線バイパス」として、平成9年度に予算化する。

自治会の要望を受け、従来よりやや上町寄りに避けて建設し、い形にする意向である。

【病院・診療所】

現在の守山市民病院は、老朽化や経営悪化から閉鎖し、一方、隣接地に平成10年4月オープンを目指して新病院を建設中である。

新病院には、今のテニスコート周辺に防災施設を含んだリハビリ公園も併設予定である。

人事も一新し、京大とのパイプを太くするとともに、京大から新院長を迎える予定である。

また、病院過疎地の中洲学区の医療強化のため、立田に守山市民病院の佐竹院長を迎え、佐竹診療所を建設し、平成9年4月に一部診療を開始されている。

【斎場】

平成8年12月25日に、20年来の夢だった斎場が、1市2町の同意を得て、「柳島」に建設されること決定された。

県の土地計画審議会へ要望書を提出し、許可を受けた上で、予算化(平成9年度)の後、建設(平成10年度)が行われる。

この際、この周辺に企業誘致を行う、斎場のイメージアップを図ることが計画されている。

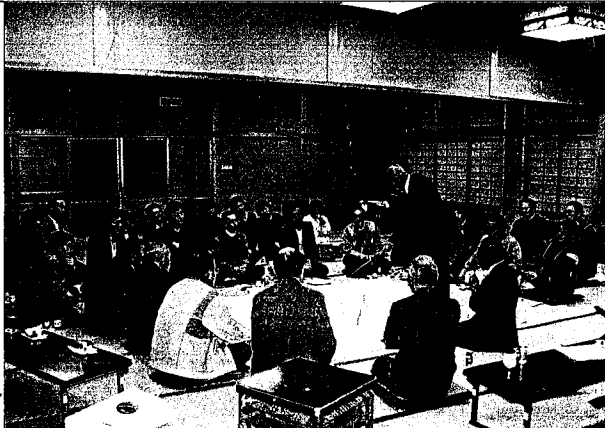
○その他

- 【かんぽ保険施設】平成5年度に美崎への誘致を行い、温泉を利用した施設の建設をかんぽに要望している。
- 13×17階建て(展望風呂・

ボーリング場含む)の建物で、屋外にはキャンプ場、ゲートボール場やグランドゴルフ場などの施設も併設される予定である。

全国で80箇所あるかんぽ保険センターの中では、全国一の施設の建設が計画されている。

平成9年度は設計、平成10年度に建設開始、平成12年度中のオープンを目指している。



【佐川美術館】

全国で5指に入る美術館が、平成10年4月オープンを目指して建設される。

有名な平山画伯の絵画等が常設される予定である。

また、隣接地に10000人収容のスタンドを備えた陸上競技場(400m公認トラック)、サッカー場が併設される。(平成10年11月完成予定)

【平安女学院誘致】

駅前商業活性化事業の一環として平成8年1月頃から大学誘致の交渉を行ってきたが、西暦2000年(市政30周年)の平成12年に平安女学院が開校される。

4年生大学で、福祉科・外国語

学科(英語・朝鮮語・中国語)の設置が予定されている。

将来には、大学院や女子高校の設置も期待される。

【下水道事業】

平成8年度末の下水道の普及率は、守山市全体の約66%(公共下水56%、農村下水10%)である。

今後5年以内に、大曲、開発を始めとして守山市全域の完備に向けて努力したい。

○その他、守山北高から立田へ抜ける笠原・立田線、守山市役所から赤野井へ抜ける守山・赤野井線のバイパス計画や大林地区工業団地の誘致計画など「平成9年度の要望事業箇所(案)」の説明を受けました。

引き続き、「平成9年度の要望事業箇所(案)」やそれ以外の懸案事項について、甲斐市長へ活発な質疑が行われましたので、その一部を紹介します。

Q 野洲川の堤防は、今の状況よりもっと低くならないのか?

A 当初の計画では60cmを考慮していたが、あまり低くする(60cm)と跡地が谷底のような感じになるため、150cmにした。

Q 風景公園に建設される道路は列系図橋から上流側には延長されないのか?

A 今の段階では計画されていないし、将来の見通しもたっていない。

Q 琵琶湖大橋取りつけ道路は4車線化にはならないのか?

A 今のところ、琵琶湖大橋から現在のジョウシンまでの4車線化を計画している。

Q JR野洲駅までの区間の複々

線化はないのか?

A 守山市また野洲町でも、将来の複々線化に備えて用地の確保を行っているが、いまのところ難しい状況である。(見通しはない)

Q 今後の農政はどうなるのか?

A 重要な課題ではあるが、厳しい行政の中で、現在の農協を介在にした基盤を固め、よい方向に進んでほしいと考えている。

Q 企業誘致の計画は?

A 現在、守山市には2500社の企業があるが、企業誘致については積極的に見直ししていくべき段階にきている。

守山市の一般会計194億円のうち約100億円は市民税で占めており、約65%は外貨を獲得しての自主財源で賄っている。企業誘致については厳しい規制をつけており、入ってくる人より地元の人を育てたいと考えている。

Q 県庁、○○省などの地方分権はないのか?

A 守山市、草津市を含めた湖南広域2市3町の会合においては広域的な立場に立って県の核になる施設の建設を考えている。現在のところ予定はない。

各市では、独自に市民ホールなどの公共施設を建設しており、各々の利用状況も良好である。

将来、今回建設される斎場周辺に、2市3町の公共施設の建設を考えている。

今後の水保発展のために、野洲川跡地利用問題など市政への要望があれば、自治会を通じて守山市役所へアピールしていきたいと考えていますので、自治会または広報部までどんな意見をお寄せください。

また、広報部の「投稿箱」をご利用ください。